



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュースレター

Today's news Flash



全日程終了! 天皇杯第11位、皇后杯第10位!

10月1日(土)の開会式から11日間にわたって競技が行われた、第66回国民体育大会「おいでませ! 山口国体」が、本日閉幕した。

本県は、目標とする8位以内入賞をめざして、選手団一丸となって競技に臨んだ。全競技が終了した本日、1341.5点を獲得し、天皇杯(男女総合成績)第11位、皇后杯(女子総合成績)第10位の成績を収めた。

来年の岐阜国体では、8位以内入賞を達成するべく、今後さらに各競技における強化が期待される。



山口国体を振り返って



福岡県選手団団長 上田 憲幸

第66回国民体育大会に参加した選手・監督・コーチの皆さん、役員としてお世話をされた皆さん、本当にご苦労さまでした。

天皇杯は、目標の8位に届かなかったとはいえ、開催県や直近の開催予定県などが選手強化に努めている中での11位という成績は立派だったと思います。ラグビー競技少年男子やウエイトリフティング競技成年男子の太田選手の4連覇、ゴルフ競技の天皇杯獲得など、当県が誇る種目でのすばらしい成果の外、今年はホッケー競技少年女子、山岳競技少年女子、カヌー競技など、将来につながる新しい芽が出てきました。

今後とも、各競技団体がより一層、国民体育大会へのモチベーションを高め、福岡県の「スポーツ総合力」の向上に努めていただきますようお願いします。

TOPICS



陸上競技 少年男女 3,000m 執念の力走!

山口国体の最終競技となる陸上競技少年男女 3,000mにおいて、本県選手が、最後の最後まで決してあきらめない感動的な走りを見せてくれた。

昨日(10月10日)の競技終了段階で、本県は1328.5点で総合成績12位につけており、11位のライバル兵庫県とは6点差、陸上競技最終日に兵庫県との勝負がかかっていた。

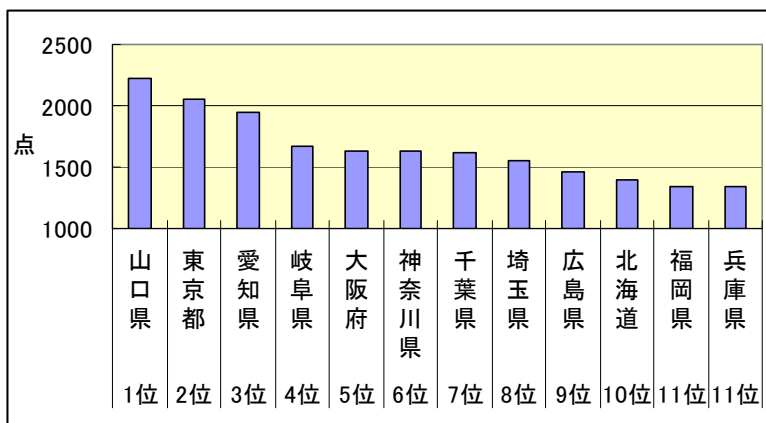
まず、少年男子B3,000mでは、本県の堀龍彦選手が、懸命の走りにより4位入賞(5点獲得)。この種目で兵庫県は、2位入賞を果たし、7点獲得。本県との差は8点差。兵庫県との勝負は、少年女子A3,000m 木村選手の走りに持ち越された。木村選手は、序盤から激しい先頭争いを繰り広げたが、ラスト1週の第3コーナーから渾身のラストスパートをかけ、見事に1位(8点獲得)でゴールインした。この瞬間、本県が遂にライバル兵庫県と同点となり、総合成績を1つ押し上げた。



Team Fukuoka Ranking Now

総合成績は、ライバル県である兵庫県と同点（1341.5点）となり、11位で幕を閉じた。昨年は、8位の兵庫県と僅か5点差により8位入賞を逃したが、本年は遂に並ぶことができた。

しかし、目標とする8位の埼玉県（1546.5点）とは、205点の差があり、8位入賞の目安となる1500点を獲得するためには、今後さらにチーム福岡が一丸となって選手強化に努める必要がある。



Result

チーム福岡最終成績 11位/47都道府県 1341.5点

〈個人競技〉

競技	種別	種目	成績	氏名	所属
陸上競技	少年男子A	100m	1位	大瀬戸 一馬	小倉東高等学校
	少年男子A	三段跳	1位	阿比留 明久	福岡第一高等学校
	少年男子A	やり投	1位	田中 翔	九州産業大学付属九州産業高等学校
	少年女子共通	800m	1位	福嶋 美和子	筑紫女学園高等学校
	少年女子A	3000m	1位	木村 友香	筑紫女学園高等学校
水泳	成年女子	100m平泳ぎ	1位	鈴木 聡美	山梨学院大学
	少年男子B	400m自由形	1位	坂井 聖人	柳川高等学校
	少年男子B	100m平泳ぎ	1位	後藤 滉平	筑陽学園高等学校
セーリング	少年男子	シーホッパー級 スモールリグ	1位	埼玉 匠海	中村学園三陽高等学校
ライフル射撃	成年女子	10mS40W	1位	井浦 望	明治大学
レスリング	成年男子	グレコローマン スタイル84kg級	1位	天野 雅之	中央大学
ウェイトリフティング	成年男子	105kg級 C&J	1位	白石 宏明	九州国際大学
	成年男子	105kg超級 S	1位	太田 和臣	九州国際大学

〈団体競技〉

競技	種別	種目
ラグビーフットボール	少年男子	—
ゴルフ	女子	—

※競技成績は、優勝のみ掲載しています。

編集後記

国体期間中、全15号にわたりニュースレターを配信してまいりました。東日本大震災復興支援と銘打って開催された本国体で、本県選手団が懸命に競技する姿は、東日本の方々に必ずや勇気と感動を与えてくれたものと確信しています。本レターでは、全種目の話題を提供することはできませんでしたが、選手・監督の皆さんのモチベーションの向上と県民の方々への情報提供ができていれば幸いです。「チーム福岡」として、全力を尽くされた選手・監督・サポートスタッフの皆さんに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。